

静岡県立富士高等学校

令和6年度 学校関係者評価実施報告書

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	日常的な授業改善への取組等を通し、生徒の主体的な学びを促し、学力の向上を図る。	●「授業(分かりやすさ、意欲等)は概ね適切」と答える生徒・保護者 90%以上	B	B	・生徒の反応をしっかり受け止めて自らの中で咀嚼し、授業に反映させてほしい。「理解できた」のもう一歩先を見据え、そこを起点に考えるきっかけを与える授業にしてほしい。
		●「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100%	B	B	・授業改善の具体的な内容が明確であれば A でもよいと思う。生徒からの評価が必要では。
		●「タブレットを効果的に授業に活用している」と答える教員 100%	A	A	・上滑りしない、しっかり定着するデジタル活用が重要。前提となる教員のデジタルスキル向上を組織的に進めてほしい。
		●「主体的に学習に取り組んでいる」と肯定する生徒・保護者 85%以上	B	B	・画一的に知識を注入するのではなく、一人一人の成長を大切にするまなざしを持ってほしい。
		●「学校は生徒の学力向上に努力している」と肯定する生徒・保護者 80%以上	A	A	・教員の同僚意識を高め、情報共有の進めながらチームとして課題解決に当たってほしい。
		● 理数科生徒及び担当教員課題研究への満足度の向上 ● 各種行事生徒満足度 4.5 以上(満点 5.0 点)	A	A	・人間社会の諸課題の解決につながる、文理融合的な発想とスキルの育成を目指すべきである。
イ	高いところざしを育み、進路実現を図る、計画的・組織的・継続的な進路指導を実践する。	●「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と肯定する生徒・保護者 85%以上	B	B	・将来について、実感を持って考えることができる機会を増やす。地域社会や多様な社会人との接点拡大が有効ではないか。 ・制度や社会的趨勢も時事変化しており、ご対応は、難しいと察する。
		●「学校は、生徒の進路希望実現のために適切な情報を提供している」と答える生徒・保護者 85%以上	B	B	・情報やデータレベルでは丁寧な提供ができていないと判断できる。 ・上記の状況から考えると総じて高評価と言えるのではないかな。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ウ	富士高生にふさわしい 品位ある態度や行動を 促すとともに、リーダー としての社会性や国際 感覚を育む。	●「学校は基本的な 生活習慣を身に付 けるよう適切な指導 をしている」と答える 生徒・保護者 90% 以上	A	A	・学習面だけでなく、社会に生きる人間とし て必要な規律正しさを身に付けさせようという 姿勢が伝わってくる。 ・一団体として規範／ルール(時には、保守 的と呼ばれる)をもつての指導と理解する。良 き伝統／規範がある。
		●「頭髪、服装指導 等、学校の生徒指 導に共感できる(理 解している)」と答え る生徒・保護者 90% 以上	B	B	・生徒も参加して考え、時代に合った形に校 則を見直していくことで、生徒の指導に対す る納得感が高まる。 ・自立した生活が送れるのであれば、髪型や 服装はある程度、自由でよいと思う。目標値 は 80%以上でよいのでは。
		●「富士高生のモラル やマナーはよい」と 肯定する生徒・保護 者 90%以上	B	B	・教え込むのではなく、生徒自身が必要性を 実感し、自然に身に付くような指導をしてほ しい。
		● 国際感覚の涵養等 に資する研修会等 への参加生徒の増 加	A	A	・海外に行くことばかりが国際感覚涵養の手 段ではない。日本社会で外国人との共生が 加速している中、足元に目を向け、地元在住 の外国人との交流機会を増やしたらどうか。 ・今後、益々重要な側面である。
		● 自転車事故件数 15 件以下	A	A	・事故の程度をランク付けし、最重要目標 は、ゼロ件等、ランクによる啓蒙活動や実際 の行動が、変化する事があるかもしれない。
		●「学校の交通事故 等に関する指導は 適切である」と答え る生徒・保護者 90% 以上	B	B	・自転車は凶器になり得ることをしっかり自覚 させる。 ・これらの啓蒙活動にやり過ぎはない。
		● いじめ0件	A	A	・ネットのやりとりに起因するなど、潜在化し がちな部分が増えたいじめを把握するため に、生徒一人一人にしっかり向き合う。
		● 非行等の問題行動 0件	B	B	・自分とは違う多様な価値観を受け入れる姿 勢を養ってほしい。人間には弱い面もある が、一時の感情に流されないことの大切さを 教える。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
エ	豊かな感性を育み、心身の健康の保持・増進を図る。	● 学校図書館の蔵書の貸出数 1700 冊以上	C	C	・本離れの現状にあって、自発的な読書習慣の目的達成は難しい。生徒数の減少もあり、成果目標数値の再検討も一つではないか。しかし、人生を豊かにするために読書習慣の促進は必要である。ビブリオバトル等の時間が取れないのであれば、書店員によるお薦め本の紹介など、創意工夫を引き続きお願いしたい。
		● 「学校は生徒の健康、安全、衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者 85% 以上	B	B	・トイレの洋式化は、学校単独の話ではないかもしれないが、ぜひ進めてほしい。健康や清潔さは、快適、安全に過ごすための基本であることを徹底させる。
		● 「学校は悩みや相談に適切に対応している」と答える生徒・保護者 80% 以上	C	C	・メンタルヘルスへの理解を深めるための情報を積極発信する。外部の相談窓口の周知などを含め、SOS 発信の心理的ハードルを下げる取組に力を入れる。 ・富士高の生徒は先生の手を煩わせる生徒はほとんどいないので、逆に先生と生徒の距離があると思う。
		● 講演会等の実施	A	A	・外部講師や心見考の取組など学校外の人々と接する機会の増加はとても良い。
		● 学習環境の改善・安全対策修繕 10 か所以上	A	A	・老朽化に伴う劣化や、性犯罪などにつながる「暗がり」の点検に力を入れる。
オ	組織的な学校運営と家庭・地域等への情報発信により、信頼関係を築く。	● 週に 1 回以上、学校ホームページを更新する。	B	B	・学校の独自性をアピールできる場所なので、個人情報保護に配慮した上で積極的に取り組んでほしい。
		● 「学校からの情報は内容に富み参考になる」と答える生徒・保護者 80% 以上	B	B	・クラッシーの運用法や中身を、「保護者が見たくなる」よう改善する必要がある。透明性を高めることは、生徒や保護者からの信頼向上に大きく貢献する。
		● 「研修等を通し、不祥事根絶に向けた意識が高まっている」と答える教職員 100%	A	A	・「腹を割って話せる」同僚性を育ててほしい。特に若手とのコミュニケーションを大切にしたい。 ・引き続き、意識を強く持ってほしい。
		● 「防災意識が高まった」と答える生徒・教職員 80% 以上	A	A	・災害時に大人はライフラインの復旧等に追われるので、他の分野で高校生の果たす役割は大きい。「防災意識が高まった」の回答は評価できる。
		● 「家庭で防災に関する話し合いを行った」と答える生徒・保護者 50% 以上	A	A	・気象変動に伴う豪雨など、大規模災害が日常的に発生している。学んだことを生徒が家庭で話せば、社会全体のレベルアップにつながる。
カ	適切な事務の執行を行い、信頼される事務室を目指す。	● 監査における指摘 0 件	A	A	・ヒヤリ・ハット事案の詳細な分析をお願いしたい。 ・引き続き適正な事務執行に努めてほしい。
		● 経営予算執行残が 0.5% 未満	A	A	・デジタルや今日的な教育課題への対応をしっかりと行い、予算を「使い切る」ことの重要性を職員間で徹底したい。
		● 施設設備における事故発生 0 件	A	A	・安全は何よりも大切との姿勢で、予算の優先度を高め、捻出してほしい。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
キ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。 働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	● 1分掌1業務改善の提言	B	B	・継続的改善は、どの組織にも求められる。 ・働き方改革を引き続き進めてほしい。
		● 「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動 100% (12/31 時点での平日・休日の休養日数の合計が基準に達しているかで評価した。)	A	A	・教員と子どもの双方が幸せになるやり方を、試行錯誤の中から探してほしい。
		● 年休取得前年度比増(最低5日以上)	A	A	・基本となる業務量の削減を実現し、休むことへの心理的ハードルを下げる。 ・休みが取得できる環境づくりに努めてほしい。
		● 時間外業務の対前年比5%減少	A	A	・これも業務量の削減が大前提。見せかけの減少による持ち帰り仕事の増大は、最も避けたい事態。